

2022年 1月 第114号



産業文化通信

JCI 産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町 3-6-7 6階

電話：03-3525-4838



新年のご挨拶

組合員企業の皆様

新年あけましておめでとうございます！

2021年は2020年に引き続き、世界全体がかつて経験した事のない、危機に立ち向かった年であります。人的交流は相変わらず制限され、親しい人との交流もままならない状況の中、私たちは、ITの活用や、一部職種では在宅勤務等も取り入れ、徐々に不便な生活や不安な状況にも慣れ、ワクチン開発や治療薬の開発に若干の明るい希望も見出す事ができました。

史上初めて、無観客で開催された東京オリンピック・パラリンピックでの各国選手達の活躍は、私たちに、改めて感動と人類の可能性を感じさせてくれました。

日本国政府は、2021年2月以来海外からの新規入国を制限しており、日本での生活に希望を抱いた外国人が母国で足止めされている状況が続いております。

JCI産業文化協同組合も、2021年2月以降、新規実習生は1名も入国できておらず、組合創設以来初めて、在籍実習生の人数が大幅に減少致しました。これは、JCIだけの問題ではなく、組合員企業ひいては日本全体の問題と言えます。少子高齢化が進む日本において、海外からの人流をこれだけ長期間抑制している事は、今後の人材不足にも影響が出てくることでしょう。

組合では準備整え、海外からの入国再開の日を待っております。

コロナウイルスの新規感染者数に一喜一憂するうち、今年一年が終わろうとしています。

今年、監理する技能実習生で数名の感染者が発生致しましたが、幸いにも大事には至らず、また、組合職員も安全に一年の業務を終える事が出来ました。

また、特定技能の受入れも少数ではありますが、順調に推移しております。

今後も、JCI産業文化協同組合は、組合員の皆様と共に、常に最善の方法を考え、歩んで参りたいと考えております。

組合員の皆さまのご健康とご多幸を祈り、活発な一年となりますよう一緒に頑張りましょう！

今年も宜しくお願い致します。

JCI 産業文化協同組合

代表理事 遠藤辛杜